

行政視察報告書

行政視察の結果について、下記のとおり報告します。

令和7年6月16日

光市議会議長 森戸 芳史 様

光市議会議員 早稲田 真弓

記

- 1 調査年月日 令和7年5月16日（金） 10:00～15:00
- 2 調査市等
 - 1 山口県立農業大学校
 - 2 防府市役所
- 3 調査結果 別紙のとおり

調査結果

日 時	令和7年5月16日（金）10：00～11：30	
調 査 市 等	1 山口県立農業大学校	
調 査 事 項	1 施設の現状確認、人材育成等	
説 明 者	1 企画戦略部 藤村主査、他数名	

<山口県立農業大学校とは>

“魅力ある農業を次世代に！「未来へつなぐ農大!!」”と掲げられ、本校の3つの特色が掲載されている。※パンフレット「学校案内2024」より

①【実習を通じた実践教育】

学生自らが「課題」「計画」「実行」「評価」するプロジェクト学修法により農業の実践力を養う。また、GAPやスマート農業、新品種の栽培など学科毎に異なる先進的な農業にも取り組んでいる。

②【自主・自立を育む教育】

寮生活を通じて、親密な仲間づくりや協調性、コミュニケーション能力を養う。

③【個々の学生に応じた進路指導】

本人が希望する就農・就業に確実の結びつけるため就業ガイダンス、短期研修（インターンシップ）1ヵ月間の先進農業派遣研修（2年次）等を実施する。

本校は2年制で、「土地利用学科」「園芸学科」「畜産学科」の3学科を設置しており、時代の変化に応じた特徴ある実践教育を展開している。

在学中に取得できる免許・資格も多数。

<視察スケジュール>

場 所	内 容	対応者
「オープンラボ」 セミナールーム	拠点概要説明	企画戦略部
	人材育成の取組紹介	農林業担い手支援部
	病虫害防除所業務等について	農林業技術部
野菜花き教育エリア	花きハウス、野菜等の説明	企画戦略部
	害虫トラップの紹介	農林業技術部

<所感>

- 定員に対して入学者が減少傾向にあり、山口県の農業を支える人材育成は深刻な状況であると感じた。広大な土地の中にハウスなどが並んでおり、のびのびと実習できる環境があり、行政以外にももっとPRに力を入れると良いと思う。
- さらに、林業の担い手が年々急速に減少していると深刻な状況をうかがった。山口県の森林資源の継続性を確保するため、早急に対策を講じる必要がある。

- スマート農業技術やトヨタ生産方式の学習がカリキュラムに組み込まれており、卒業後に農業者として自立し即戦力となるよう、より実践的な教育が行われている。
- 【やまぐち就農支援塾】では、「農業に興味を持ち始めた方」や「新規就農や農業法人等への就業を検討中の方」「目標を持ち、就農・就業を目指し本格的な研修が必要な方」等の社会人を対象に段階に応じた研修を行っており、これからの山口県の農業には必須であると考えます。特に「経営スキルアップ研修」は重要である。
- 病害虫の発生予察のためのフェロモントラップの現物を視察し、地道な日々の観察・調査・分析による病害虫の予察が、農業者を支えていることが理解できました。
- 「やまぐち農林業の知と技の拠点祭」や各種体験イベント、公開講座など、広く県民に開かれ、活用されるものとなるよう多様な連携、交流事業に取り組んでいる。私もぜひ参加し、農林業についてもっと知りたいという気持ちになった。山口県の農林業の未来を担う人材育成に引き続き取り組んでいただきたい。



調査結果

日 時	令和7年5月16日（金）13：30～15：00	
調 査 市 等	1 防府市役所	
調 査 事 項	1 新庁舎建設、ワンストップ窓口等 2 防府市議会	
説 明 者	1 行政管理課 工棟課長、他数名 2 防府市議会事務局	

1. 防府市役所庁舎建設についてまでの経緯

（1）建設までの経緯等について

・立地選定

H27・28 防府市庁舎建設基本構想・基本計画検討委員会において建設地（4ヶ所）について検討。

H30 池田市長が、現在地における庁舎建て替えを掲げて当選。議会で現庁舎敷地における建て替え計画作成のための補正予算提出。

R1・2 基本・実施設計。R4～6 本体工事。設計着手から6年間、構想着手から10年間。

（2）財源等について

新庁舎の建設にはおよそ106億円。（起債約9割、一般財源（基金）約1割。）

物価高や人手不足等による工期や建設費の影響については、工期は当初R4.2～R6.5の見込みが、R4.2～R6.11となった。事業費は、91億円で落札したが基礎工事の難航やインフレスライド（資材価格・人件費の上昇）により変更契約を行ない、最終的に106億円となった。比較的、物価高騰の影響は少ないと考えられる。

（3）その他

市民ワークショップでの意見の反映（明るい庁舎・ランドマーク・インスタ映え・解りやすい案内・バリアフリー・授乳室・売店・土日の市民開放・フリーWifi・キャッシュレス化等）

県の土木建築事務所や保健所、市の社会福祉協議会などの関係機関が入っている。

新庁舎は免震構造となっており、大地震に対応できる。

2. ワンストップ窓口

新庁舎への移転を見据え、転入、転居等の住民異動に係る届書や各種手続きにおける申請書等について、「書かない窓口」を7課28窓口にシステム導入し令和6年1月より運用開始。

3. 防府市議会におけるデジタル化について

議会活動の更なる充実、情報伝達の効率化やコミュニケーション手段の確保、諸資料のデータ化によるペーパーレス化を推進するため、令和4年1月からタブレット端末を導入。

<所感>

● 新庁舎は広々とした空間もあり、全体的に明るく表示等も解りやすいと感じた。庁舎建設に向けて、場所の選定や予算、基本構想など5年以上の時間は必要と理解した。

- 早期の工事着手により、比較的に昨今の物価・人件費高騰の影響はそれほど受けていない様子だった。今後、ランニングコストを削減できているか注視したい。
- 庁舎内の売店について、一般のコンビニエンスストアは入らなかったが、地元企業のスーパーが名乗りをあげ、コンビニエンスストアスタイルの売店として市役所の利用者や庁舎で働く人々には便利で喜ばれているようだ。
- 新庁舎内には県の土木事務所や保健所、市の社会福祉協議会などの関係機関が入っており、手続きが市役所だけで済むので時間短縮ができて良いと思う。
- 「書かない窓口」導入により、手書きの負担を軽減し、情報共有ができ、待ち時間短縮を実現している。ただし、オンラインによる相談は現在行っておらず、今後実施できれば更なる市民サービスの向上が実現できると思われる。
- 本市における新庁舎建設には、場所の選定から予算の確保・検討、市民の意見の反映など数多くの課題が山積しているが、防府市役所もそうであったように、課題を一つずつ乗り越え解決し新庁舎を早期に建設していただきたい。
- 防府市議会のデジタル化では、実際にタブレット端末を見せていただくことができ、とても使いやすいと感じた。導入当初は議員が対応できるか懸念され、1年間は紙媒体と併用期間を設けたが、使用していくうちに議員はタブレット端末に慣れていき、ペーパーレス化を実現できている。防府市議会安村議長が挨拶で、書類を大平山の高さで表現されたのが印象的だった。ぜひ、光市議会でもデジタル化の実現をお願いしたい。